

言語文化

指導目標	<p>言葉によるものの見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	---

教材	<p>教科書：「新編言語文化」（東京書籍）</p> <p>学習書：「新編言語文化」（NHK出版）</p> <p>レポート・学習ノート</p>	レポート	全9回
		面接指導	必要時間数：2時間
		放送	全84回（N-gaku Online Spaceで視聴。高校講座HP視聴可。）
		中間到達度チェック・試験	中間到達度チェック（9月）・年度末試験（1月）

単位	3単位
評価	<p>【①知識・技能】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。</p> <p>【②思考・判断・表現】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。</p> <p>【③主体的に学習に取り組む態度】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェック、レポート提出状況（提出期限）、スクーリング出席状況（必要時間数の出席充足）、放送視聴状況にもとづき評価します。上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。</p>

月	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	中間到達度チェック 年度末試験
	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			1	<p>① 第1回レポート 指導単元：「古文に親しむ」 学習目標：古文への親しみを感じる。 学習活動： ・「言語文化」ガイダンス ・主体性を持って言葉を扱う姿勢を培う。</p> <p>2 ・作品内容と、自分の感性や考え、日常の出来事などを重ねる姿勢を持つ。 ・今現在使っている言葉と、古文、漢文の言葉とのつながりを意識する。共通点と違いを意識する。</p>	1 2 3	<p>古文入門（古文の世界へ） 「古文に親しむ」 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」① 「児のそら寝」②</p>	「言語文化オリエンテーション」動画配信	
			3 4	<p>② 第1回レポート 指導単元：「古文に親しむ」 学習目標：古文への親しみを感じる。 学習活動： ・音読することで、古文のリズムと雰囲気を楽しむ。 ・精読ではなく、内容に注目することを主眼とし、親しみや面白さを探す。 ・文法事項【歴史的仮名遣い】</p>	4 5 6 7	<p>『今昔物語集』 「検非違使忠明」 『今鏡』 「用光と白波」 『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」① 「絵仏師良秀」②</p>		
5			1 2	<p>③ 第1回レポート 指導単元：「児のそら寝」 学習目標：古文への親しみを感じる。 学習活動： ・主語を押さえ展開を追う。 ・「児」と「僧」の関係を踏まえてストーリーを追う。 ・「児」の「念じ」という動作の意図、「えい」という返事のタイミング、「僧」の笑いのきっかけに注目する。 ・この話の「おもしろさ」がどこにあるか、考える。 ・文法事項【歴史的仮名遣い復習】</p>	8 9 10 11	<p>随筆（生きる喜び） 俵 万智「さくらさくらさくら」① 「さくらさくらさくら」② 言語活動「『花』と言えば『桜』？」 柚月裕子「心の自由」</p>		
	第1回 5月20日	古文入門(古文の世界へ) 「古文に親しむ」 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」	3 4	<p>④ 第1回レポート 指導単元：「絵仏師良秀」 学習目標：古文への親しみを感じる。 学習活動： ・「絵仏師」という仕事および良秀の人物像を把握する。 ・「人の命」と「仕事」のいずれを優先するかという良秀の「価値観」を評価する。 ・自身の「価値観」を考える。 ・文法事項【歴史的仮名遣い復習】</p>	12 13 14 15 16	<p>随筆（日々の思い） 『徒然草』 龜山殿の御池に 「奥山に、猫またといふものありて①」 「奥山に、猫またといふものありて②」 「雪のおもしろう降りたりし朝」 「今日はそのことをなさんと思へど」</p>		
6			1 2	<p>⑤ 第2回レポート 指導単元：「さくらさくらさくら」 学習目標：随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 学習活動： ・日本人と外国人との比較を通して、日本人の感性を明らかにする構造を把握する。 ・「日本の春という舞台の全て」を含んだ存在だという筆者の「桜観」に触れ、自分なりの「桜」への思いを振り返る。 ・文章構成、随筆の特徴を学ぶ。</p>	17 18 19 20	<p>古文の窓「兼好法師、こんな一面も」 『枕草子』 「うつくしきもの①」 「うつくしきもの②」 「五月ばかりなどに山里歩く」</p>		

第2回 6月20日	随筆（生きる喜び） 「さくらさくらさくら」 『美しい』ということ	⑥ 第2回レポート 指導単元：「心の自由」 学習目標：随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 学習活動： ・「心の自由」とはどのようなことか、本文の中の表現から客観的に読みとる。 ・筆者の「旅」と「物語」についての説明を読み、共通点を整理して理解する。 ・筆者の考えを読み取った上で、自分なりの「心の自由」を考える。	2 1 漢文入門（漢文に親しむ） 2 2 訓読の基本（1）訓読 2 3 訓読の基本（2）格言 2 4 故事成語「守株」「五十歩百歩」		
7		⑦ 第3回レポート 指導単元：「雪のおもしろ降りたりし朝」 学習目標：古文の表現に慣れ、筆者の考えを読み取り、自分の感覚を深める。 学習活動： ・場面設定を把握し、セリフが誰の言葉か、「をかきしりしか」という感情は誰のものか、内容を整理する。 ・手紙のやり取りの中にある、日本人の四季折々の風流心などを知る。 ・日本人の感性や文化のつながりを感じる。 ・文法事項【付属語】「助詞」「助動詞」とはどういうものか、基本事項を整理する。	2 5 「借虎威」 2 6 詩歌1（命をうたう） 2 7 「柳あをめる」短歌① 2 8 短歌② 「雪の深さを」俳句①		
第3回 7月20日	随筆（日々の思い） 「雪のおもしろ降りたりし朝」 「うつくしきもの」	⑧ 第3回レポート 指導単元：「うつくしきもの」 学習目標：古文の表現に慣れ、筆者の考えを読み取り、自分の感覚を深める。 学習活動： ・「うつくし」という言葉の理解を深める。 ・音読を通してリズムを味わう。 ・清少納言が取り上げた一つひとつのものに共通する「小さいもの」「幼いもの」に対する「うつくし」という概念を理解する。 ・具体例を思い浮かべながら、自分なりの「かわいらしい」という感情についての概念をまとめる。 ・文法事項【用言の活用】「活用」ということについて理解し、学びを進める。	2 9 「雪の深さを」俳句② 3 0 短歌・俳句の読み方 3 1 詩歌2（うたの心） 3 2 「折々のうた」『万葉集』『古今和歌集』		
8		⑨ 第4回レポート 指導単元：「訓読の基本」 学習目標：漢文の特色を知り、決まりを理解する。漢文の世界に親しむ。 学習活動： ・中国と日本、言葉の繋がりを意識する。 1 言葉でも文化でも、漢文や漢文で描かれた内容が切り離せないものであることを学ぶ。 2 文法事項【訓読の基礎、特に返り点】 ・記号に従って返読することを理解し、記号にしたがって日本語として語順を並べ替えられるようにする。	3 3 「折々のうた」『新古今和歌集』 3 4 言語活動「短歌を作る」		
		⑩ 第4回レポート 指導単元：「故事成語」 学習目標：漢文の特色を知り、決まりを理解する。漢文の世界に親しむ。 学習活動： ・故事成語の出典を学び、そこに見られる思想に触れる。 ・日常の中にある故事成語や、中国文化などを意識して調べてみる。 3 文法事項【書き下し文】 4 返り点の動きを理解したうえで、実際の漢文を書き下し文にする。 ・助詞助動詞にあたる言葉をひらがなに変えることに注意する。 ・再読文字については、その働きや動きを理解する。		「中間到達度チェック実施前の前半のまとめ」動画配信 8月後半	
		⑪ 第4回レポート 指導単元：「柳あをめる（短歌）」 「雪の深さを（俳句）」 学習目標：短歌、俳句に親しみ、深く読み味わう力を養う。 学習活動： 1 短歌俳句を通して描き出されている心情や情景を、作品の言葉を通して読み取る。 2 自分なりにひかれる作品について音読したり、描かれた世界についてイメージを膨らませたり、いろいろな方法で鑑賞する。	3 5 漢詩（漢詩を味わう） 3 6 「春暎」 3 7 「黄鶴楼送孟浩然之広陵」 3 8 「涼州詞」 3 9 「春望」 3 8 言語活動「漢詩と日本文学」		中間到達度チェック レポート第1回～第3回 ○児のそら寝 ○さくらさくらさくら ○うつくしきもの

9	第4回 9月20日	漢文入門（漢文に親しむ） 「訓読の基本」 「故事成語」 詩歌1（命をうたう） 「柳あをめる（短歌）」 「雪の深さを（俳句）」	⑫ 第5回レポート 指導単元：「折々のうた」 学習目標：詩歌に表されたものの見方や感じ方、考え方を捉え解釈する。特徴的な表現の技法や効果を理解する。 学習活動： 3 ・短歌俳句の学習に続いて、韻文のリズムを味わい、表された感じ方、考え方を捉える。 4 ・作品自体から自分自身はどう感じたかを表現し、それと筆者の解説とを比較し、共感できるところと差異を確認する。 ・表現技法を学ぶ。 ・各歌集の特徴や文学史的事項の整理	3 9 小説1（触れ合う心） 三浦哲郎「とんかつ」① 4 0 「とんかつ」② 4 1 「とんかつ」③ 4 2 吉田篤弘「オレンジの実る庭」①		
10			⑬ 第5回レポート 指導単元：「漢詩」 学習目標：漢詩を繰り返し音読し、優れた表現に親しみ、表現された情景や心情を味わう。 学習活動： 1 ・音読を繰り返す。訓読の独特のリズムを感じる。 2 ・作品の背景や、作者の人生などから作品の理解を深める。 ・漢詩の形式や決まりを学ぶ。 ・特に詩の形式や押韻、対句といった基本事項は、国語の素養、教養として理解しておきたい。	4 3 吉田篤弘「オレンジの実る庭」② 4 4 「オレンジの実る庭」③ 4 5 小説の読み方 4 6 小説2（葛藤する心） 芥川龍之介「羅生門」①		
	第5回 10月20日	詩歌2（うたの心） 「折々のうた」 漢詩（漢詩を味わう） 「漢詩（唐詩）」	⑭ 第6回レポート 指導単元：「とんかつ」 学習目標：表現に注意しながら登場人物の心情を読み取り、小説に親しむ。 学習活動： 3 ・想像豊かに、登場人物の関係や心情を読み取る。 4 ・「とんかつ」という料理が持つイメージや、舞台となる地域の雰囲気、登場人物の容姿など、表現されたものから心情を探りながら詳細に読み進める。 ・物語の構造や視点を意識させ、物語の読み方を深める。	4 7 「羅生門」② 4 8 「羅生門」③ 4 9 「羅生門」④ 5 0 「羅生門」⑤ 5 1 言語活動「元になった古典作品と読み比べよう」		
11	第6回 11月10日	小説1（触れあう心） 「とんかつ」 小説2（葛藤する心） 「羅生門」	⑮ 第6回レポート 指導単元：「羅生門」 学習目標：表現に注意しながら登場人物の心情を読み取り、小説に親しむ。 学習活動： 1 ・冒頭の舞台設定を、表現にこだわって詳細に味わう。物語の客観性を高める周囲の描写、芥川の優れた表現を味わいたい。 2 ・物語の展開を把握する。特に、下人の心境の変化を追いかけてい。 ・登場人物の考え方を捉え、自分なりの考えと照らし合わせる。 ・芥川の「羅生門」と古文における「羅生門」とを比較して味わう。	5 2 物語（古人の生き方） 『伊勢物語』『芥川』① 5 3 「芥川」② 5 4 『伊勢物語』『筒井筒』① 5 5 「筒井筒」② 5 6 言語活動 「和歌を自分の言葉で書き換える」		
			⑯ 第7回レポート 指導単元：『伊勢物語』『芥川』『筒井筒』 学習目標：物語内容を的確にとらえ、文章展開や表現の特色に注目しながら読み味わう。 学習活動： 3 ・表現を適切に捉えながら、物語の展開を理解する。「芥川」では、「盗み」という言葉にまどわされないように注意する。 4 ・人物の心情理解を物語と和歌から深める。 ・現代の感覚だけで登場人物の状況や考えを理解するのではなく、時代背景、かつての文化を調べたり把握した上で、丁寧に読み取る。 ・恋愛や結婚、文章を元にした他の絵画や工芸など、作品から広がる世界を味わう。	5 7 『平家物語』『木曾の最期』① 5 8 「木曾の最期」② 5 9 「木曾の最期」③ 6 0 古文の窓「『平家物語』のあらまし」		
12	第7回 12月15日	物語（古人の生き方） 「芥川」 「筒井筒」 「木曾の最期」	⑰ 第7回レポート 指導単元：『平家物語』『木曾の最期』 学習目標：物語内容を的確にとらえ、文章展開や表現の特色に注目しながら読み味わう。 学習活動： 1 ・平家物語の背景を確認し、場面の理解を正確に行う。 2 ・木曾殿と今井四郎の主従関係を複数の場面で読み取る。 ・時代を超え共通する人間の哀感を味わう。	6 1 論語（論語のことば） 「学ぶということ」 6 2 「人間を見つめる」 6 3 「政治を考える」 6 4 「論語」の注釈を読む		
			⑱ 第8回レポート 指導単元：『論語』 学習目標：孔子の考えを捉え、ものの見方や考え方を豊かにする。 学習活動： 3 ・現代にも影響を与える孔子の思想を読みとる。 4 ・表現された考えに対し、自分なりに感じたことや考えをまとめる。 ・「学ぶ」「人間」「政治」といったテーマに対して何を大切だと考えるか整理する。	6 5 詩歌3（命をうたう） 高村光太郎「冬が来た」 6 6 佐藤春夫「少年の日」 6 7 吉野 弘「I was born」 6 8 言語活動 「歌詞の意味や表現技法について考えよう」	「年度末試験実施前の後半まとめ」動画配信 12月後半	

1	第8回 1月20日	<p>⑱ 第8回レポート 指導単元：「I was born」 学習目標：詩の表現やリズムに親しみ、深く読み味わう力を養う。 学習活動： ・音読をした上で、散文詩の表現やリズムを捉え、内容を理解する。 ・「僕」の少年時代の気持ちや流れをしっかりと把握する。 ・「父」の話の内容を理解し、そこにこめられた思いを読み取る。 ・「父」の話を受け止めた「僕」の思いをまとめる。</p>				<p>年度末試験 第4回～第6回 ○訓読、故事成語、漢詩 ○折々のうた ○とんかつ・羅生門</p>
	<p>論語 『論語』 詩歌3（命をうたう） 「I was born」 紀行（旅の心） 『奥の細道』</p>	<p>⑲ 第8回レポート 指導単元：『奥の細道』『旅立ち』『平泉』 学習目標：作品内容を読み取り、作者の思いを捉える。文章構成や表現の特色を理解し作品を読み深める。 学習活動： ・旅の行程を確認しながら、場面の確認をする。 ・なるべく音読をして、独特のリズムを味わう。 ・「旅立ち」では、その時の周りの様子、人々との交流を整理して、芭蕉の心境を理解する。 ・「平泉」では、「兵どもが…」という有名な句、および先に学習した「春望」との関連を持ち、様々なものとのつながりを感じる。</p> <p>⑳ 第9回レポート 指導単元：「史話 三編」 学習目標：話の展開に即して内容を理解する力を身に付ける。登場人物の生き方や考え方に触れ、史話の面白さを味わう。 学習活動： ・漢字の意味を意識して書き下し、現代語訳をする。 ・登場人物の性格や特徴を捉える。 ・「三国志」の面白さについて考える。 登場人物の生き生きとした様子、策略の内容、進言の仕方など、史話が持つ面白さを各自見つける。</p>	<p>69 紀行（旅の心） 『奥の細道』『旅立ち』 70 「平泉」 71 言語活動「文学碑を調べる」 72 言語活動「古典芸能へのいざない」 73 史話（史話を楽しむ） 『三国志』『曹公戦於白馬』 74 「曹公以關羽為義」</p>			
2	第9回 2月15日	<p>史話（史話を楽しむ） 『三国志』 小説3（現実の向こう側） 「夢十夜」 「デューク」</p>	<p>㉑ 第9回レポート 指導単元：「夢十夜」 学習目標：多様な小説を読んで、読書の幅を広げ、豊かな感性を養う。 学習活動： ・表現に即して丁寧に読み、作者が作り出す不思議な世界観を味わう。 ・答えがない問いを自分なりに立てたり、考えたりする面白さを感じる。 ・第一夜の二人の関係、第六夜の時代を超越した舞台設定、それらを通して何を表現しようとしたのか、自分なりの解釈する。</p>	<p>75 『世説新語』『魏武捉刀』 76 言語活動「三国志のあらまし」 77 小説3（現実の向こう側） 78 夏目漱石「夢十夜」① 「夢十夜」②</p>		
		<p>㉒ 第9回レポート 指導単元：「デューク」 学習目標：多様な小説を読んで、読書の幅を広げ、豊かな感性を養う。 学習活動： 「デューク」 ・丁寧に心情の変化を追い、作品を自分なりに解釈する。 ・「デューク」を失った悲しみが、どのように変化していくかを追う。 ・作品に散りばめられた伏線や描写を味わう。 ・「少年」が「デューク」であったとしても、何のために「私」の前に現れたのか、しっかりと考えたい。 ・最後の「私」の心境を自分なりに説明する。 ・多様な読書活動を心がける。</p>	<p>79 夏目漱石「夢十夜」③ 80 「夢十夜」④ 81 江國香織「デューク」① 82 「デューク」②</p>			
3			<p>1 2</p>	<p>83 江國香織「デューク」③ 84 現代文の窓「小説へのいざない」</p>		
			<p>3 4</p>			